

年頭所感

医薬品流通の さらなる効率化と 適正化を推進



一般社団法人
日本医薬品卸売業連合会
会長

鈴木 賢

明けましておめでとうございます。

皆様には、日頃から日本医薬品卸売業連合会へのご支援、ご指導を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年は、時代の大きな変化のあらわれなのか、社会全体が、どこか騒がしく感じる一年でありました。私たちの業界も例外ではなく、中央社会保険医療協議会（以下、中医協）において、昨年6月に閣議決定された「骨太の方針2017」に基づいた薬価制度の抜本改革に向けた具体的な議論が進

められております。さらに、経済財政諮問会議においても薬価制度の抜本改革に相応しい結論が望まれており、「国民負担を十分に軽減していく必要がある」との意見が出されており、各所で「国民皆保険の持続性」と「イノベーションの推進」を両立し、「国民負担の軽減」と「医療の質の向上」の実現に向けて様々な検討が進められております。

これまでの中医協の議論では、「新薬創出加算のあり方」、「長期収載品の薬価のあり方」、「後発品の薬価のあり方」、「費用対効果評価の導入につい

て」、そして「中間年の薬価調査・薬価改定について」など薬価制度抜本改革の具体的取り組みについて審議されました。この場において、卸連合会として、大きく3つの要望を出させてもらいました。まず1つ目は、中間年の薬価改定の範囲は極力限定し、調査は卸売業者の負担をできる限り少なくしていただくこと、2つ目に、薬価調査の結果データ公表の拡大については、企業経営に重大な影響をおよぼしかねないため、価格交渉に影響しない範囲とすること、3つ目に、薬価制度の趣旨に沿うよう、単品単価契約を進めるための施策の実施や、妥結価格が年度内は変動させないことを盛り込むなどした、関係者が遵守すべきガイドラインの策定などについて要望し、慎重な検討を求めているところです。

このような議論が現在進行形で行われている中ではありますが、私たちは、まず、流通改善に全力で取り組まなければなりません。おとし設置しました「新提言等フォローアップタスクフォース」において、単品単価交渉の促進や市場の変化に対応した流通のあり方など、喫緊に改善を要する課題について、昨年4月にその対応策を取りまとめました。この対応策を具体化していくため、7月には新たにプロジェクトチームを立ちあげ、具体的な対応に落とし込むための積極的な議論を進めています。流通改善を完遂することも、先述した「国民皆保険の持続性」と「イノベーションの推進」を両立し、「国民負担の軽減」と「医療の質の向上」を実現させるための重要な前提条件であると考えておりますので、会員および会員構成員企業の皆様にさらなる協力をお願いいたします。

このほかにも「偽造薬の流通防止についての取り組み」や「災害発生時における情報共有体制の構築」等について取り組むべき課題がございます。

昨年発生した、偽造薬の流通は、医薬品流通の信頼を大きく揺るがした出来事でした。安全で適正な流通を確保することも私たちの大切な仕事であります。厚生労働省が設置した、いわゆる「偽造薬流通防止検討会」に卸連合会としてメンバー

を派遣し、課題解決に向けて積極的に取り組んでいるところでございます。検討会の議論を踏まえて昨年10月には施行規則が改正され、取引記録の保存や取引先の身元確認などが求められるようになりました。改正された施行規則への対応に万全を期すため、昨年12月に研修会を開催したところでございます。

災害対応の強化についても、卸連合会として引き続き取り組んでおります。昨年も九州北部豪雨をはじめ、台風、大雨などの自然災害が全国で発生し、深刻な被害をおよぼしました。医薬品等の流通に関しては、会員および会員構成員企業の皆様の迅速で適切な対応のおかげで、医薬品を安定供給するという医薬品卸の使命を支障なく全うしていただきました。

日ごろから、災害への備えとして迅速な情報把握そして情報を共有する体制を備えておくことが重要であると考えています。引き続き、皆様のご協力をお願いいたします。

さて、繰り返しになりますが、医薬品市場がこれまでのような成長ペースが見込めない状況の中、本年は、診療報酬、介護報酬の同時改定、薬価改定が実施されます。先述の通り薬価のあり方についても、根本的な見直しの議論が進んでいます。このことは、人々の健康にかかわる産業全体に大きな変化をもたらすものと思われれます。私たちの業界としてもこれまでに経験したことのないほどの変化に直面することとなります。しかしながら私たちは、医薬品流通という、会員構成員企業それぞれの事業を通して日本の医療の一翼を担い、国民の健康に貢献する存在として、医薬品流通のさらなる効率化と適正化を推進していかなければなりません。その大前提である医薬品の流通改善への取り組みについて、ご理解をいただき、本年も多大なる協力をお願いいたします。

最後になりましたが、本年も皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げまして、年頭のあいさつとさせていただきます。